



神棚に 今日も家族の ありがとう

「神宮大麻」は、天照大御神をおまつりする「伊勢の神宮」のお神札で、皇室と日本の安寧の祈りが込められています。

大麻とは古来より神様への捧げ物やお祓いの際に用いられる「大麻」（麻、木綿）を指しております。このことから、厳重なお祓いを経て授けられるお神札を「大麻」と呼ぶようになりました。

また、私たちが住む地域の神社「氏神さま」には地域・家庭の平穏への祈りが込められた「氏神さまのお神札」があります。

安寧・平穏の祈りが込められたお神札をおまつりすることは、暮らしと命を大切に思う「こころ」の表れと言えます。

「神宮大麻」と「氏神さまのお神札」をおまつりし心健やかな日々を送りましょう。

※氏神…祖先に縁深い地域をお守りくださる土地神さま。

○拝礼作法○

ご神前に進んだら姿勢を正し、二拝二拍手一拝の作法でお参りします。

1 まず二回、深く頭を下げます。

（その深さは腰を九十度に折る程度が美しいといわれています。）

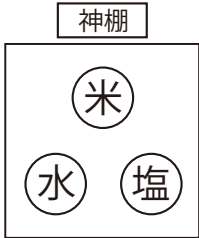
2 胸の前で両手をあわせ、右手を少し下にずらして二回手を打ちます。二拍手のあと、両手の指先をもとのとおり揃え、手を下ろします。

3 最後にもう一度、深く頭を下げます。

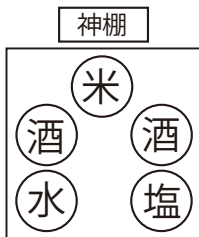
ご神前では「感謝の心」、「おかげさまの心」を捧げてお参りしましょう。

○お供えの仕方○

お米・お塩・お水をお供えする例



お米・お酒・お塩・お水をお供えする例



奉製に関するお祭り

神宮大麻がご家庭に届くまで

大麻曆奉製始祭 (一月上旬)

たいまきほうせいしじめさい
奉製作業を開始することをお告げし、その年の最初の神宮大麻に神璽を押捺します。



奉製を行う神宮職員(大麻奉製員)は毎朝(けつせい)潔斎(けつさい)をして身を清め、神宮遙拝の後、丁寧に作業にあたります。

※神璽…神宮(神さま)のおしるし

大麻用材伐始祭 (四月中旬)

たいまようざいきはじめさい
神宮大麻の御用材を伐り始めるにあたり、作業の安全を祈願します。



大麻曆奉製終了祭 (十二月下旬)

たいまきほうせいしじゆうりようさい
今年一年の奉製が終了したことを大御神に奉告します。

大麻修祓式 (随時)

たいましゆはつしき
清浄を期して奉製された神宮大麻はお祓いされ、頒布始祭まで神宮で奉安されます。

※完成した神宮大麻には白い薄紙が巻かれ、皆様のお手元に届くまで穢れなきよう、清浄が保たれます。



※頒布…広く配ること

頒布に関するお祭り

神宮大麻曆頒布始祭 (九月十七日)

じんぐうたいまきはんぷしじめさい
今年の頒布を始めることを大御神に奉告し、奉製された神宮大麻が神宮大宮司より神社本庁の統理(代表)



へと授与されます。その後各都道府県神社庁へ届けられ、頒布始祭告祭が執り行われます。



神宮大麻曆頒布終了祭 (三月五日)

じんぐうたいまきはんぷしじゆうりようさい
神社本庁統理以下、各都道府県神社庁代表者が参列のもと、恙なく頒布を終えたことを大御神に奉告します。

ご家庭への頒布

(十月〜十二月)

神職、氏子関係者の手によって各ご家庭へ頒布されます。現在の全国各地への頒布は、明治天皇の思召しにより明治五年から始まりました。神宮大麻は各神社においても授与しています。



発行人/
神道青年全国協議会



神宮YouTube
チャンネル
〈心の循環〉

